

■ ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	取 組 内 容	令 和 5 年 度 推 進 状 況
創業・新事業支援	・公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金への参画 ・ひろしま中小企業支援ネットのパートナー金融機関としての参画 ・よろず支援拠点との連携	(1) 公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金に平成19年度から参画し、役員と審査員の派遣と運用財産の拠出を行っています。 (2) 平成24年11月に「経営革新等支援機関」の認定を受け、創業支援や新事業支援への取り組みを積極的に行っています。 (3) 中小企業者等への経営支援機能を補完・強化するため地域密着型金融の取り組みとして「ひろしま中小企業支援ネット」に参画しています。 (4) 相談先に悩む中小企業等の相談窓口として、販路拡大を始めとする様々な経営課題に対応し、相談内容に応じて、中小企業等への適切な支援機関の紹介や、支援機関において対応が困難な相談案件への対応等を実施する「よろず支援拠点」と連携して、支援体制の強化に努めています。
	・創業・新事業の支援を目的とした融資商品の推進	(1) 創業・新事業の支援を目的とした商品「創業支援ローン」の令和6年3月末の利用実績は7件12百万円となりました。
成長段階支援	・成長事業への支援としての取り組み	(1) 成長事業の支援として「太陽光発電関連融資」「アグリ・農林事業者向け融資」等に取り組んでいます。
経営改善支援	・経営支援先を選定し、本部と営業店が一体となったお客さまの経営改善支援	(1) 経営支援先として404先を選定し、中小企業診断士の指導の下で本部と営業店が一体となってお客さまの経営支援に取り組んでおり、令和5年度は9先がランクアップしました。
	・専門家派遣による経営改善の取り組み	(1) 広島県内の専門家派遣事業を推進して、お取引先の経営改善・経営課題等の解決に積極的に取り組んでいます。
事業再生支援	・広島県中小企業活性化協議会等、外部専門家機関との連携による事業再生	(1) 「広島県中小企業活性化協議会」と連携し、現在25先のお客さまの事業再生に取り組んでいます。 (2) 平成24年5月に建設企業の経営革新等を推進することを目的として「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に加盟しています。 (3) 県内中小企業者の経営改善サポートを強化するために設置され、定期的に開催される広島県中小企業支援ネットワーク会議に出席し、中小企業者のお客さまに対する支援強化を推進しています。 (4) 広島県内企業の活性化に寄与すると判断し、平成23年5月「ひろしまイノベーション推進機構」からの要請を受け官民ファンドへ出資しています。 (5) 経営革新等支援機関(認定支援機関:税理士、中小企業診断士等)と連携し、現在51先のお客さまの事業再生に取り組んでいます。
	・「中小企業金融円滑化法」終了後の取り組み	(1) 中小企業金融円滑化法は平成25年3月末で終了しましたが、貸付条件の変更や円滑な資金供給等のご要望に、引き続ききめ細やかな対応をするよう取り組んでいます。 (2) 中小企業金融円滑化法終了後の事業活性化を支援する取り組み商品として、平成25年5月に「事業活性化支援ローン」の取扱いを開始し、令和6年3月末の利用実績は229件2,612百万円となりました。
	・「新型コロナウイルス感染症」の影響拡大を踏まえた取り組み	(1) 「新型コロナウイルス感染症」の影響拡大を踏まえ、貸付条件の変更や新たな資金需要等に、きめ細かくスピード感を持って対応しています。 (2) 令和2年2月に「新型コロナウイルス関連対策ローン」の取扱いを開始し、令和6年3月末の利用実績は71件408百万円となりました。 (3) 令和3年5月まで取扱いした「新型コロナウイルス感染症対応資金」(実質無利子・無担保融資)の後継として、「伴走支援型特別保証資金」を提案し借り換えにも対応しました。 (4) 令和2年5月に「学生応援ローン」、同年7月に「生活衛生同業組合員向けサポートローン」の取扱いを開始し、令和6年3月末の利用実績は合計で32件10百万円となりました。 (5) 令和2年4月から令和6年3月末までの貸付条件の変更実績は累計で8,116件となりました。
事業承継	・外部専門家機関との連携による事業承継の支援	(1) 「広島県事業承継・引継ぎセンター」や外務専門家と連携し、お客さまの事業承継支援に取り組んでいます。

■ 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取 組 内 容	令 和 5 年 度 推 進 状 況
担保・保証に過度に依存しない融資などへの取り組み	・キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資商品である「スーパービジネスローン」、「ドリームローン」、「地域創生支援ローン」ならびにカードローンなどの継続推進およびABLの活用	(1)平成15年から、キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資商品である、「スーパービジネスローン」、「ドリームローン」、「地域創生支援ローン」を取扱い、令和6年3月末の利用実績は3商品合計で713件4,716百万円となりました。 また、カードローン商品として「ビジネスカードローン」、「パーソナルカードローン」、「ゆとりカードローン」を取扱い、令和6年3月末の利用実績は3商品合計で242件1,113百万円となりました。 (2)平成22年8月からお使いみち自由で事業性資金・借り換えも可能なフリーローン「快速アシスト」の取扱いを開始しました。令和6年3月末の利用実績は60件66百万円となりました。 (3)ABL(動産・売掛金担保融資)の活用を行っています。 (4)平成26年2月1日より適用開始となった「経営者保証に関するガイドライン」について、適切な対応を行っています。 (5)平成26年8月に発生した広島土砂災害の被災者および平成30年7月に発生した西日本豪雨災害の被災者を対象とした「シンシンヨー災害復旧事業者ローン」および「シンシンヨー災害復旧ローン」を取扱いしました。また、令和3年8月の大雨被害にも上記のローンで被災者支援を行い、令和6年3月末の利用実績は12件72百万円となりました。
企業の将来性・技術力を的確に評価できる能力など人材育成への取り組み	・企業の将来性、技術力を的確に評価できる目利き能力の向上のため各種研修参加による人材育成への積極的な取り組み	(1)中国ブロック信用組合協議会が主催する次の研修に参加しました 渉外・融資推進(初級)研修 (令和5年 5月 12名) 目利き・事業性評価研修 (令和5年 6月 5名) 渉外・融資推進研修 (令和5年11月 5名) (2)全国信用組合中央協会等が主催する研修に職員を派遣しています。 (3)外部講師による融資勉強会を毎月1回開催し、職員全体のスキルアップに取り組んでいます。

■ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取 組 内 容	令 和 5 年 度 推 進 状 況
地域活性化につながる多様なサービスの提供	・利用者満足度アンケート調査の意見を反映した取り組み	(1) 顧客満足度の向上に向けた第18回アンケート調査を令和5年3月に実施、令和5年6月にディスクロージャー誌上で回答の分析結果を公表しました。 (2) 利用者満足度の向上に向けたアンケート調査の意見を反映し、令和5年7月に海田支店、令和5年11月に五日市支店を新築移転オープンしました。
	・地域の活性化につながる各種取り組み(地域貢献、環境問題、金融教育、多重債務者問題等)	(1) 平成29年に創設した給付型奨学金「シシンヨーはばたき奨学金」は令和5年度も継続し、5月から今年度分の給付を開始しました。 (2) 地域貢献の一環として令和5年5月マツダ スタジアムで開かれたプロ野球「広島東洋カープ×東京ヤクルトスワローズ」戦をスポンサードゲームとして開催し、役職員とその家族等を招待しました。 (3) 令和5年6月から8月に、竹原支店、向洋支店、安浦支店で中学生と高校生の職場体験学習に協力しました。 (4) 9月3日の「しんくみの日」にあわせ令和5年9月に献血運動を実施、役職員および近隣にお勤めの方など69名が参加し、48名の方に献血をしていただきました。 (5) ビジネスマッチングを取引先に紹介し、次のマッチングに参加しました。 2023しんくみ食のビジネスマッチング展(令和5年10月～11月、オンライン展示と個別商談) 第8回しんくみビジネスマッチング(令和5年11月、岡山) (6) 令和5年8月、24名の大学生および短期大学生をインターンシップ研修として受け入れ、金融業務を体験していただきました。 (7) 令和5年5月、中国財務局の「多重債務相談」および「金融ほっとライン」のチラシを営業店に備え置き、広報しました。 (8) 令和5年8月、ひろしま産業振興機構の依頼を受け、「ひろしま創業サポートセンター」のリーフレットを営業店に備え置きました。 (9) 令和5年9月、多重債務者対策本部等が主催する多重債務者相談強化キャンペーン(令和5年9月～12月)に協力し、デジタルサイネージ、リーフレットで広報しました。 (10) 令和5年9月、広島市経済観光局の依頼を受け、「ビジネスフェア中四国2024 出展者募集」のリーフレットを営業店に備え置きました。
	・大学教育を通じて、地域社会と中小企業金融の発展、ならびに、教育支援や人材育成に貢献する取り組み	(1) 令和5年3月、当組合理事長が広島修道大学の特別客員教授に再任されました。 (2) 平成21年度からの取り組みである産学連携は、令和5年度も継続して実施しており、理事長が令和5年5月に広島経済大学で講義を行いました。